



## 市長の政治姿勢について

**問** 市長自らの4年間の市政運営を、どのように総括するのか伺います。

**答** 市長 平成30年4月の就任以来、市政運営に最大限の努力を傾注してきました。子どもから高齢の方まで、すべての市民が安心して豊かに生活できるまちづくりを目指してさまざまな課題に取り組み、これまで、環境政策としての国際環境認証ブルーフラッグの取得や、ゼロカーボンシティ宣言、子育て支援として受入月齢引き下げなどによることも園の充実、また、市民の大切な移動の手段である基幹バス等、公共交通の充実などに取り組んできました。そして、多発する集中豪雨など自然災害への対応、新型コロナウイルス感染症対策、また、価値観やライフスタイルの多様化による行政需要の拡大など、さまざまな環境変化もありましたが、市政運営については、概ね進捗を見ている

と考えています。

**問** 市長は、市民に対して約束したことについて、どのように考えていますか。

**答** 市長 まちづくりに関して、子育て支援、防災・防犯・安全対策、産業・観光の振興など、大きく8つの展望をお示ししました。どれもが重要な施策であり、これらの施策を人口減少対策につながるため、令和元年度当初から、第2次山武市総合計画における重点項目として、私の公約との連動性を確保し、市政を推進してきました。一定の実現が見られたと考えていますが、成東駅北口開発など非常に難しい問題に関して、市の将来にとって間違いのない判断をするため、議論をより深化させなくてはならないものもあると認識しています。

**問** 市民に対して、約束を達成していない政策等もありますが、4月に予定されている市長選挙の再選について、市長の見解を伺います。

**答** 市長 平成30年4月、市民の皆様への信任を賜り、早くも3年7か月が経過しました。市民の皆様はもとより、議員各位の力強い支援をいただきながら、本市の発展と市民の福祉向上に邁進してきましたが、私の任期も残りところ5か月となりました。この間、令和元年の台風や大雨被害対策、そ

の後の新型コロナウイルス感染症への対応等さまざまな想定外の出来事が発生するなど、数々の課題を抱えながらも、市民生活の向上を目指し、緊張感を持って市政運営にあたってきました。その成果は、一歩ずつではありますが、着実に現れているのではないかと思います。そして、持続可能な都市として発展していくため、これまで取り組んできた各施策を着実に進めながら、次の段階に進んでいきたいと思えます。

市民一人ひとりが、この地に住んで良かった、住み続けたいと感じてもらえる山武市を築き上げるためには、さらに時間が必要であり、まだ道半ばです。引き続き、市長として先頭に立たせていただき、愛する山武市のために全力を傾注する決意をし、ここに4月執行予定の市長選挙への立候補を正式に表明します。

## 東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設建設事業について

**問** 東金市外三市町清掃組合(以下「清掃組合」とする。)において、新ごみ処理施設建設事業が進められていると聞きますが、新施設の建設が必要になった経緯について伺います。

**答** 建設環境部長 清掃組合によると、①現在の施設は、平成10年4月の稼働開始後、20年以上が経過したこと、随所に老朽化が目立ち始めたこと、

②ごみの質の変化やごみ処理技術の進歩等に伴い、経済性および安全性に優れた処理システムの導入の必要性があること、③現在の施設の地元区との協議で、協定期間満了時の令和10年3月までに他へ移転する旨の取決めがあること等から、新施設の建設計画に着手していると聞いています。

**問** 新施設の建設予定地について伺います。

**答** 建設環境部長 新施設の建設事業は、山武市を除く東金市・大網白里市・九十九里町の2市1町での計画となります。平成27年に住民から候補地を募集し、応募のあった8件について比較検討し、平成29年8月、最も評価の高かった東金市上武射田地区を建設候補地に決定したと、清掃組合から聞いています。

**問** 新施設建設による環境影響等、ごみ処理区域外である山武市民に極大影響を及ぼさないよう、搬入経路の見直しを含め、建設計画を進めるべきと考えますが、市長の見解を伺います。

**答** 市長 これまでも、山武市民の理解を得られるような事業計画となるよう要望してきましたが、地域からご意見もいただいていますので、山武市民に対して最大限配慮した計画となるよう、今後も清掃組合に要望していきます。